

# ビジネスウーマン 交流会通信 1

山形で働く女性たちが、  
自分をマネジメントしていく考え方や  
ノウハウを学び交流を深めました！



ごあいさつ



山形県  
子育て若者心援部長  
松田 明子

本日はビジネスウーマン交流会にご参加いただき、誠にありがとうございます。  
今回は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、オンラインの開催とさせていただきます。皆様方とオンラインで繋

がり、身近に感じながら進めることができたりと思えます。

このころ、特に女性活躍という分野においては整備が非常に進んだと思えますが、あらゆる分野で女性のリーダー的な女性を増やすという202030.2020年までに30%という目標には程遠いものがあります。

産業界あるいは企業にとりましては、少子高齢化に伴う働き手不足から、女性に力になってほしいという期待感があり、そういう発想に、女性としては違和感を覚えるという方ももしかしたらいらつしやるかもしれません。

女性活躍という方針から、無理やり前

に出ると言われているという感じを受けていらつしやる方も、もしかしたらいるかもしれませんが、むしろ私は、無理矢理感があつたとしても、今この機会を自分の能力を磨いて、その力を発揮して、自己実現をするチャンスと捉えていただきたいと思っております。また、コロナを経験しまして変化もたくさん起きていふことと思いま

多少自分を過大評価して新しいことへチャレンジすることも、また大事な一歩かなと思えます。

交流会を通して改めて、自身を知り、新たな発見があるかもしれません。これを機に、皆様のネットワークが広がつていただくことを期待したいと思います。

## 講演 (公開講座)



講師  
山形市売上増進  
支援センター  
センター長  
富松 希氏

女性活躍が推進されているものの、なかなかモヤモヤを感じている方、どんなふうにご自身のキャリア形成に取り組んでいけばいいのか悩んでおられる方は多いのではないかと思います。

## 時代はVUCA

VUCA(ヴァカ)は予測困難で不確実な状況を指す時に使う言葉で、ビジネス環境が不安定さを増すなかビジネスシーンでもよく聞くようになってきました。

この不安定さ・不確実性というものが、女性がキャリアを考へていく上でひとつの

課題というか、ハードルになつていふと感じます。でもこれらをハードルと捉えずに柔軟に伸びやかに受け止めていけると新たな可能性が広がるという概念が20年ほど前に提唱されています。\*



### VUCA(ブカ)とは

- Volatility (変動性・不安定さ)
  - Uncertainty (不確実性)
  - Complexity (複雑性)
  - Ambiguity (曖昧性)
- 予測困難で、不確実・不安定な状況を指す

\* Mitchell, K. E., Al Levin, S., & Krumboltz, J. D. (1999). Planned happenstance: Constructing unexpected career opportunities. Journal of counseling & Development, 77(2), 115-124.

## キャリア・ドリフト 「流され」ながら偶然を「活かす」

キャリアを考へる時によく聞く言葉のひとつに「キャリア・プラン」があります。これはプラン、つまり計画なので、ゴールを定め、そのゴールに向かうための行動計画を立て、その行動計画に沿つて実現に向けて行動する。直線上に進むイメージです。一方、ワランボルツ教授らにより提唱された「キャリア・ドリフト」という考え方は、個人のキャリアの8割は偶発的な出来事によって成り立っているという考えに基づいたものです。

8割ものことが予測できない出来事であれば、そもそもプラン(計画)しきれない。それなら、柔軟に受け止めて流れに身を任せる。偶然を活かしてキャリアを創造していくことが重要だということ考え方です。

流れに身を任せつつ、そして自分が望んだわけではないけれども、家族の事情だったり何か人生の方向性を見直さざるを得なかつたり、そんな節目の時はしっかりと考へて自分の人生の次の歩を選択する。自分が進みたい大きな方向性はデザインす

るそんな考え方になります。  
漂流(ドリフト)している間にはその漂流している間に乗っている船(その時々々の組織や職場)でできることをする。経験や実績を積んでおく。その経験や実績を次にふつとチャンスが現れた時にチャンスをつかみ取る力にする。VUCA時代にキャリア・ドリフトはマッチした考え方だと思えます。

「流され」ながら偶然を「活かす」ために、必要だと思ふ視点が3つあります。

1つ目は、今の仕事、今の職場でできる経験を大切にすることです。

経験は時間と一緒に、必要な時になつて急に増やせるというものではないんです。経験できるというところそのものが貴重ですから、今の仕事になんらかの不満をお持ちだつたり、やりたくないわけではないけれど100%やりたくないでもないと感じておられたりしたとしても、少なくとも今その場の経験がいつか活かせる可能性があるから、今のその時間も大切に経験を積まれるといいと思えます。

2つ目は、今の環境で実績を出すことを意識することです。

チャンスをつかむには力が必要です。チャンスにはいろいろな手が挙げられるのです。その中でチャンスをつかむには人に伝わる実績が必要です。

小さくてもいいので、自分はこの結果を残してきましたと言える実績を出すことを意識していただきたいと思います。

3つ目は、気になることは常日頃から考へておく、調べておく、気に留めておく、ということ。普段から考へておかないといふこと。普段から考へておかないといふこと。きなり目の前にチャンスが現れたとしても活かさない。掴むかどうか選択できない。チャンスなのかどうかも分からないかもしれません。

普段から考へてアンテナを立てておくことで小さなチャンスを見逃さないことにもつながると思えます。



# マネジメントスタイルを複数持つ

管理職への登用を女性自身が望まないという声を聞くことがあります。そこで管理職へのチャレンジをもっと少し身近に考えてもらいたくマネジメントスタイルの話をしようと思います。人それぞれいいのですが、ご自身のマネジメントスタイルを複数持つことをご提案します。

私の場合は、スタイルの軸のひとつの端に大工の棟梁型を、もうひとつの端にオーケストラの指揮者型を置いています。状況や求められる内容に応じてこの軸の間でスタイルを調整するという感じです。

大工の棟梁型はメンバーの仕事のほばすべてをリーダーが分かっていて、方法論も含めてメンバーを指導できるイメージ。対してオーケストラ型はメンバーが個々に専門性があり特定の分野においてはリーダーよりもメンバーが経験も知識もスキルもあるチーム。この時にリーダーに求められる役割は、指示・指導というよりも方向性を示し、情報や状況を共有し、進め方の指針を出す、リスク対策をするといったことになります。

管理職やプロジェクトのリーダーをやってみないかと言われた時に、「自分には分からない部分があるから無理」ではなく、リーダーとしてどのようにチームに働きかけたらチームとして成果を出せるのかと考える。こういったマネジメントスタイルを知っておくだけでも管理職やプロジェクトリーダーにチャレンジしやすくなるのではないのでしょうか。

自分を活かすのは自分です。自分が見たいことや好きなことにこだわり選べる選択肢を狭く捉えてしまうとチャンスや可能性を逃してしまふことがあるのではと感じます。

偶然与えられた環境や場所をどういった

偶然まで含めて活かしていければ、気持ちのゆとりも持て、新たなチャレンジ、新たな

なキャリアにつながっていくのではないのでしょうか。

## テーマA

### ストレスとうまく付き合う

あなたが感じる「ストレス」の対処法を見つけ、日常に活かせるようにする内容でした。



講師  
合同会社  
work life shift 代表  
伊藤 麻衣子氏



## 学びマルシェ

ファシリテーターと参加者同士で話しながら、気持ちよく働くためのヒントが得られる時間。テーマを変えて、2回実施しました。

## テーマB

### キャリアデザイン (仕事×自分MTG)

今の仕事をもっと自分らしく。「仕事」と「なりたい自分」の接点を見つけるワークで、『キャリア=仕事&ライフ』を楽しむためのヒントを見つけるワークを行いました。



講師  
Mama\*jam代表  
山川 唯美氏



## テーマC

### 「自分の取扱説明書」でコミュニケーションを良好に

自分が「上手く行くとき」や「調子が悪いとき」ってどんな時? 「自分の取扱説明書」を作り、良好な人間関係に活かすワークを行いました。



講師  
株式会社キャリアアクリイト  
コミュニティーマネージャー  
須貝 未菜氏



## テーマD

### 働きやすい職場を作ろう

読書会スタイルで「働きやすい職場作り」の学びを深める場。「社労士事務所に学ぶ 中小企業ができる「働き方改革」(課題図書)を事前に読んで頂き、当日感想を伝え合いました。



講師  
株式会社キャリアアクリイト  
ヤマガタ未来ラボ編集長  
田中 麻衣子氏



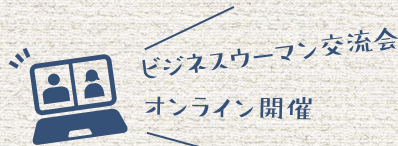
## テーマE

### アンガーマネジメント

私たち人間にとって自然な感情である「怒りの感情」を知り、アンガーマネジメントテクニックを学ぶワークを行いました。



講師  
株式会社キャリアアクリイト  
キャリアカウンセラー  
浅野 えみ氏



キャリア・ドリフト的考えを取り入れる勇氣を持ってたので、まずは自己実現を早速ノートに書いてまとめます。

キャリア・ドリフトという考え方。流れに身を任せることは間違いなのかなと一部思っていたのに対して、8割が偶発的な出来事で、**流れに身を任せる柔軟性も大切**、と言っていたので救われました。

学びマルシェBから 仕事に対するネガティブな感覚が漠然とあったのですが、**たくさんある仕事の中身(内容)から、自分が楽しい**と思っていることを自覚したら、**仕事も意外と楽しいんじゃない?**と思えてきました。

## 参加者の声

キャリア・ドリフト的な考え方に共感し、**気持ちが楽になりましたし、モヤモヤが消えました。**

本日は参加させて頂きありがとうございました。1部だけの参加でしたが、お話を伺っているようなヒントが詰め込まれている内容だと感じました。**節目節目で大まかな方向さえ意識づけていけば全然怖がらずに自分の自己実現につながるのではないかと思います。**新しい気づきを与えてくださってありがとうございました。

**チャンスが来たらチャレンジしてみるという気持ちが大切だと理解できました。**

「オーケストラ指揮者型マネジメント」のイメージを持つことで、全てが把握できないとリーダーシップがとれないと思っていた自分にとって、**気持ちが軽くなり、前向きにやってみようと思うことが出来た。**